

# センターだより

令和6年9月15日

No. 81

東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 今 井 宏 明  
指導主任 松 澤 朗  
事 務 石 橋 牧 子

## 「毎朝、気持ちのいいあいさつ（釜戸小学校）」

3市の指導員の方々には、毎月「声かけ活動」として、地元地域を中心として取り組んで頂いています。

各指導員の方々からは、「子どもたちの明るい笑顔や元気なあいさつに接することが出来てとても嬉しい」というお話を多く聞かせて頂いています。

「声かけ活動」の取り組みは、各班様々ですが、朝の登校や帰りの下校の時間帯に行ってみえる班もいくつかあります。

今回、釜戸地区の指導員さんから「釜戸小学校の子どもたち、毎朝とても気持ちのいい元気な挨拶をしてくれます。遠く離れていても、『おはようございます』っていう声が聞こえてくるんですよ。」と、嬉しそうに登校の様子を聞かせて頂いていました。



また、「年度末に釜戸小学校の子どもたちから『いつも見守っていてくれてありがとうございます』というお礼の手紙をもらいました。指導員をしていて、とても嬉しく思います」と、知らせて頂いていました。

朝の声かけ活動（挨拶）の際には、「子どもたちとのふれあい」と共に「校長先生を始めとして、先生方と子どもの話題を通じて、たくさん話が出来て仲良くさせてもらっています。」と、喜んで話してみえました。

校長先生には、そんな指導員さんからのお話を電話で伝えさせて頂きました。「指導員の方には、いつも登校の際にやさしく声をかけてもらい、子どもたちも喜んで挨拶をしています。地域の方々がこうして見守って頂けることは、子どもたちはもちろんのこと、保護者の方や私たち教職員にとっても心強く有難いことです。」と喜んでみえました。

校長先生から、「朝の登校の様子です」と言って、写真を送って頂きましたので載せさせて頂きました。

## 「運営協議会開催 「様々なご意見を頂きました」

東濃西部少年センターの活動を支え、助言を頂くために、年に2回の「運営協議会」が設けられています。運営協議会のメンバーは、3市の「教育長様」「社会教育担当課長様」「PTA連合会代表者様」の9名、「高等学校PTA連合会代表者様」「多治見地区高等学校生徒指導主事担当校長様」「東濃教育事務所高校担当課長補佐様」「東濃子ども相談センター所長様」「多治見警察署生活安全課長様」「コンビニエンスストア等防犯協会会長様」「多治見文化振興事業団学習館館長様」の7名を加えた合計16名となっています。



会議は7月と12月の2回行われ、「予算案及び会計報告」「事業計画」「事業報告」などの審議や意見交流が行われます。

第1回の運営協議会では委員の方々から貴重なご意見を頂きましたので、紹介させていただきます。

- ・「声かけ活動」においては、「地域の方に見守られている」という安心感があり、子どもはもちろんのこと、大人にとっても安心・安全であり、有り難い活動です。(複数)
- ・小・中・高校生にボランティア活動の募集をすると、多くの希望者が集まり、そこでの活動においてもとても意欲的で助けられています。
- ・ヤマカまなびパーク内にある、図書館や学習コーナーの使用において、子どもたちのマナーがとてもよいです。

半面、「忘れ物」が多く、貴重品であっても放置されていることがあるので、「物を大切に扱う気持ち」が弱い子どもたちが増えているように感じられます。

- ・少年による犯罪は数的には減少傾向ですが、犯罪の内容において心配な面があります。少年によるSNS関連の犯罪が多くなり、特に「薬物」「闇バイト」といった、とても心配な犯罪が増えてきています。

## 「自転車事故 被害者にも加害者にもならないように」

### ～自転車運転者は、保険に加入してください～

子どもたちを取り巻く環境の中で、「事件・事故にあわないでほしい」ということが強い願いです。事故の中で、「車との接触事故」はとても危険ですが、それと共に「自転車事故」にも気をつけたいです。子どもたちが利用する自転車では、事故においては命に関わるような被害者になってしまうと共に、場合によっては「加害者になってしまう」という危険性もあります。

自転車走行については、今年の5月に「自転車運転における法改正」が行われました。毎年、東濃西部少年センターの事業における「決算審査」の際に、助言を頂いている弁護士の方からも「子どもたちが自転車に乗る際、必ず『保険加入』するように指導してください」というお話がありました。様々なお立場から、「自転車保険の加入の大切さ」を子どもたちとその保護者に広めて頂ければ幸いです。

## 「地域を支えるリーダー（南ヶ丘中学校 MSJリーダーズ）」

南ヶ丘中学校では、生徒会メンバーが中心となり「MSJリーダーズ」を結成し、ボランティア活動に力を注いでみえます。

「登校時のあいさつ運動」「地域清掃（ゴミ拾い登校）」など、生徒会活動を中心に、学校内外での日常生活の取り組みとして、「仲間とともに、挑み、高まる」をめざしてみえます。

7月1日は、多治見市「あいさつで絆の日」でした。多治見市青少年まちづくり市民会議として、平成25年から「あいさつで絆の日」という挨拶運動を市内の小中学校、PTA、交通安全協会などの関係団体と連携して市内一斉に活動しています。



南ヶ丘中の生徒が地域を支えられるよう取り組んでいきます。」という強い思いもお聞きしました。

この活動は、「挨拶を通し、人と人との絆を築くことが出来る街をつくること」を願って始まり、多治見市内の小中学校では、朝早くから旗を立てて取り組まれています。

南ヶ丘中学校では、「挨拶を通して、地域の方々とのつながりをより一層強く、深めていきたいと考えています」とお聞きしています。

さらに「地域の方々からは、多くの支援を頂いているおかげで今日があると思っています。そうした地域への感謝に応えるためにも、これからは私たち

**「帰りたい家庭・通いたい学校・住みたい地域」**

**☆「楽しい話題」「伝えたい情報」「ちょっとした悩みごと」**

**（身近な出来事など、連絡・相談ください）**

**「東濃西部少年センター」**

0120-873-246（携帯からもOK）

[anshin55@crux.ocn.ne.jp](mailto:anshin55@crux.ocn.ne.jp)（24時間受付）

相談時刻・メール返信は、10時～17時（日・月休み）

# 「令和6年度 新任指導員研修会」

令和6年6月8（土）「ヤマカまなびパーク」において、令和6年度の東濃西部少年センター「新任指導員研修会」を開催しました。

講師には、昨年に引き続き田中聡さん（岐阜県警察本部生活安全課少年部）をお招きし、「街中での声かけ活動のポイント及び配慮事項など」についてお話を頂きました。

「声かけ活動」においては、「愛情と善意の心と自然な態度」で接することの大切さ。

「子どもたちとの関わり方」について

は、「大人を信じていいと子どもたちに感じさせる」など、いくつかのポイントを分かり易くお話頂きました。

また、「声かけ活動の際に、なかなか子どもたちに出会えないことが多い」という点については、「子どもたちに出会えなくても『ながら見守り・ながら声かけ』のような気楽な気持ちで活動してください。不審者出没防止のための抑止力にはとても有意義な取り組みです」とのことでした。こうした話を聞かれた初めて指導員になられた方からは、以下の様な話を聞かせて頂きました。

「あまり難しく考えないで、気持ちを楽にして子どもたちと仲良くなれるように取り組んでみます。」

「回る時間帯の関係もあり、子どもたちにあまり出会えないこともありますが、『不審者防止に役立っている』というお話を聞いて、大切な役割であると改めて感じました。」

また、今回の研修会でも、例年のように研修会終了後に、田中さんのところに行かれ熱心に相談される指導員の方もみえ、喜んで帰宅されました。



## 「声かけ活動の取り組みについて」

東濃西部少年センターから今年度、ボランティアとして「声かけ活動」をお願いしている指導員の方の人数は、多治見・瑞浪・土岐市内で172名の方々がみえます。指導員の方々には、熱心に「声かけ活動」を行って頂きとても感謝しています。

ありがとうございます。

1年間を通しての活動なので、夏の暑さや冬の寒さに加え、交通安全に気を配りながらの取り組みとなっています。また、人と接する活動であるので、気を遣うことも多くあると思います。

活動の実施の際には、心身共に健康面への支障がないよう班長さんを中心に取り組んで頂いていますが、これまで同様、無理のない中でお力を貸していただければと考えています。

これからは季節の変わり目でもあり、少しずつ日没が早くなるため、暗い夜道での取り組みなど気をつけて活動して頂くようお願い申し上げます。